みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

国立民族学博物館研究報告 vol.13-3; 表紙,目次ほか

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2010-02-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009215

1988——13巻3号

国立民族学博物館研究報告

●

カーリー女神の変貌
——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の研究————田中雅一

シンハラ農村の労働交換体系————足立　明

トーゴ北部諸族の技術誌をめぐる諸問題
——パレオニグリティックを中心に————和田正平

方陣の歴史
——16世紀以前に関する基礎研究————林　隆夫

国立民族学博物館　〒565　大阪府吹田市千里　万博公園　TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

13巻 3号　　1988年

目　次

カーリー女神の変貌
——スリランカ・タミル漁村における村落祭祀の研究——　……田中雅一……445

シンハラ農村の労働交換体系……足立　明……517

トーゴ北部諸族の技術誌をめぐる諸問題
——パレオニグリティックを中心に——　……和田正平……583

方陣の歴史
——16世紀以前に関する基礎研究——　……林　隆夫……615

彙　報……721

国立民族学博物館研究報告寄稿要項……723

国立民族学博物館研究報告執筆要領……724

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 13 No. 3 **1988**

TANAKA, Masakazu — Transformation of the Goddess Kali: An Anthropological Study of a Hindu Village Festival in a Tamil Fishing Village, Sri Lanka 445

ADACHI, Akira — Labor Exchange System in Sinhalese Agrarian Settlements 517

WADA, Shohei — Some Problems of Ethnotechnology among "Montagnards Paléonigritiques" in Northern Togo 583

HAYASHI, Takao — A Preliminary Study in the History of Magic Squares before the Seventeenth Century..... 615

彙　報 (昭和63年7月～昭和63年9月)

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
黒田　悦子	教　授（第四研究部）	63. 7. 2	63. 7.11	オランダ
吉田　集而	助教授（第二研究部）	63. 7. 9	元. 1.17	パプアニューギニア
崎山　　理	教　授（第五研究部）	63. 7.11	63. 7.27	インドネシア
佐々木史郎	助　手（第一研究部）	63. 7.15	63. 9.11	中華人民共和国
庄司　博史	助　手（第三研究部）	63. 7.17	元. 4.29	フィンランド
佐々木高明	教　授（第二研究部）	63. 7.18	63. 7.27	インドネシア
吉本　　忍	助　手（第二研究部）	63. 7.18	63. 9.18	インドネシア，ミクロネシア連邦，ベラウ共和国
大森　康宏	助教授（第三研究部）	63. 7.20	63. 9. 8	台湾，インドネシア，ミクロネシア連邦，ベラウ共和国
石森　秀三	助教授（第四研究部）	63. 7.20	63. 9.18	台湾，インドネシア，ミクロネシア連邦，ベラウ共和国
石毛　直道	教　授（第四研究部）	63. 7.23	63. 8. 9	ユーゴスラビア，トルコ，ギリシア
久保　正敏	助　手（第五研究部）	63. 7.26	63. 9. 1	オーストラリア
須藤　健一	助教授（第一研究部）	63. 7.26	63. 9.25	アメリカ合衆国，仏領ポリネシア，ニュージーランド自治領，キリバス，ミクロネシア連邦
朝倉　敏夫	助　手（第四研究部）	63. 7.27	63. 8.16	韓国
藤井　知昭	教　授（第五研究部）	63. 7.28	63. 9. 4	インド，ブータン
宮本　　勝	助教授（第二研究部）	63. 7.28	元. 4.26	マレーシア，シンガポール，フィリピン
小山　修三	助教授（第四研究部）	63. 8. 1	63. 9.24	オーストラリア
永ノ尾信悟	助教授（第三研究部）	63. 8. 1	63.10.11	インド
江口　一久	助教授（第三研究部）	63. 8. 1	63. 8.29	カナダ
松原　正毅	助教授（第二研究部）	63. 8.10	63. 9.11	中華人民共和国
杉島　敬志	助　手（第二研究部）	63. 8.15	63. 9.14	インドネシア
崎山　　理	教　授（第五研究部）	63. 9. 3	63. 9.13	インドネシア
杉田　繁治	教　授（第五研究部）	63. 9. 4	63. 9.14	ドイツ連邦共和国，フランス
守屋　　毅	助教授（第一研究部）	63. 9. 5	63.11.15	アメリカ合衆国
大塚　和夫	助　手（第三研究部）	63. 9. 7	63.10.21	スーダン，エジプト
杉本　尚次	教　授（第三研究部）	63. 9.15	63.11.15	アメリカ合衆国
ケネス・ラドル	助教授（第五研究部）	63. 9.29	63.11.12	マラウィ共和国・連合王国，タイ，フィリピン

来館者抄

7月15日　Julio SUNOL-LEAL（コスタリカ，コスタリカ出版社副社長）

7月19日　Shiro SAITO（アメリカ合衆国，ハワイ大学図書館アジアコレクション図書専門教授）

7月22日　彭　晋　璋（中国，中国社会科学院日本研究所副所長）
鮑　　剛（中国，中国社会科学院日本研究所講師）

7月26日　中国江西省景徳鎮市歴史名城建設・古建築保存技術交流訪日団一行
団長　黄　　浩（景徳鎮市城郷建設局総工程師，景徳鎮市土木建築学会副理事長）
副団長　周　　淞（景徳鎮市建築設計院総工程師，景徳鎮市土木建築学会副理事長）
団員　李　廷　幹（景徳鎮市建築設計院総建築師，景徳鎮市土木建築学会理事長）
王　儒　明（江西省土木建築学会理事長）
胡　介　蓀（江西省建設庁科教処工程師）
通訳　陳　寳　華（江西省陶瓷工業公司）

8月7日　台湾文化建設委員会一行
領隊　劉　萬　航（行政院文化建設委員会副主任委員）
顧問　江　韶　瑩（国立芸術学院副教授）

蔡　和　璧（国立故宮博物院編輯）
秘書　尹　章　中（行政院文化建設委員会第一處科長）
団員　呂　木　琳（（台湾省教育處第五科科長）
蘇　解　得（屏東県立文化中心主任）
徐　天　福（彰化県立文化中心主任）
孫　承　泠（桃園県立文化中心主任）
徐　國　華（高雄県立文化中心主任）
周　龍　田（花蓮県立文化中心主任）
宋　治　國（台北県立文化中心主任）
徐　文　雄（宜蘭県立文化中心主任）
葉　佳　雄（台南県立文化中心主任）
孫　慶　勳（基隆市立文化中心主任）
揚　振　華（台北市立社会教育館館長）
洪　慶　峯（台中県立文化中心主任）

8月12日　Leslie MANNING（カナダ，ザ・バンフセンター陶芸科主任教授）

8月15日　王　梅　芳（中国，北京市中日友好病院図書館）

8月16日　胡　　坦（中国，中国中央民族学院副院長）

8月22, 23日　中国歴史博物館研究館員一行
団長　余　　庠（中国歴史博物館付研究館員）
団員　劉　京　輝（中国歴史博物館科員，通訳）
王　宝　慶（中国歴史博物館主任科員）
張　金　衛（中国歴史博物館助理館員）
黄　銘　遠（中国歴史博物館館員）
李　　強（中国歴史博物館館員）
丁　懐　進（蘇州シルク博物館助理工程師）
孫　明　南（蘇州シルク博物館付科長）

8月30日　中国人民対外友好協会代表団一行
張　忠　培（故宮博物院院長）
靳　尚　誼（中央美術学院院長）
王　金　城（中国人民対外友好協会副秘書長）
鄭　民　欽（中国日本友好協会理事）

9月3日　中国上海市大都市近郊農業視察団一行
沈　效　良（上海市奉賢県県長）
肖　徳　元（上海市沙県厳橋郷工業公司董事長）
黄　永　鑫（上海市上海県竜貸実業公司董事長）
樊　建　明（上海市嘉定県馬陸郷副郷長）
朱　根　栄（上海市宝山県廟行大康実業公司董事長）

9月3日　上海市柑橘視団一行
団長　沈　学　行（上海市農場管理局副局長）
秘書長　丁　徳　富（上海市前衛農場副場長）
団員　傅　宝　虎（上海市前衛農場農芸師）
翁　国　庆（上海市前衛農場柑橘技術員）
通訳　傅　賀　国（前上海市前衛農場幹部）

9月5日　Sergio Mauricio Brito GAUNDENZI（ブラジル，バイア州財務長官）夫妻

9月6日　Bruce D. SMITH（アメリカ合衆国，スミソニアン研究所国立自然史博物館北アメリカ考古学部門学芸員）

9月12日　楊　麗　天（中国，雲南省民族博物館等備組組長）
高　宗　裕（中国，雲南省民族博物館等備組副組長）

9月20日　丁　偉　志（中国，中国社会科学院副院長）
張　国　維（中国，中国社会科学院AA研所長）

9月21日　Luis J. MACCHAVELLO（ペルー，駐日ペルー共和国特命全権大使）夫妻
Raul E. BRESANI（ペルー，ペルー大使館参事官）

9月27日　Isaria N. KIMAMBO（タンザニア，ダレスサラーム大学教授）

9月29日　望月春雄（国立歴史民俗博物館庶務係長）
伊藤　幹雄（同用度係員）
松本　恵司（同資料係員）

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は，民族学（文化人類学）に関する論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等を掲載・発表することにより，民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は，次のとおりとする。
   (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織，運営に関与する者
   (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
   (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は，論文，資料・研究ノート，調査研究活動報告等のうち，いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお，この区分についての最終的な調整は，国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は，原則として論文及び資料・研究ノートを1段組，その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は，日本語，英語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし，その他の言語を用いる場合は，編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字，記号，印刷方法等が必要な場合は，編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で，日本語を使用する場合は，原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし，その他の言語による論文の場合は，編集委員会に相談するものとする。なお，寄稿する原稿については，執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は，原則として制限しない。ただし，編集する場合は編集委員会の判断により，紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は，必ず清書（欧文の場合はタイプ）し，原稿の写し1部を添付するものとする。なお，図，表のスミ入れ，レタリングは，編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は，審査委員会において審査のうえ，採否を決定する。なお，原稿は，採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い，掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては，別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は，次のとおりとする。

〒565　大阪府吹田市千里　万博公園10-1
国立民族学博物館内
国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表 06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は，200字詰原稿用紙を使用し，横書きとする。
2. 原稿は，図，表を除き，原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は，原則として当用漢字，現代かなづかいを用いる。
4. 句読点，括弧，各種記号等は，原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号，月日及びその他の数字は，原則としてアラビア数字を用いる。なお，年号は，原則として西暦とする。
6. 図及び表は，一図，一表ごとに別紙に書き，本文とは別に一括して添付するものとする。なお，図，表ごとに通し番号（「図1」，「表1」等の要領により記入），図，表名及び説明並びに出典等を記し，本文原稿の欄外には，それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は，写りの明瞭なもので，手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り，図及び表の扱いに準じて通し番号，説明を付けたうえ，そう入箇所を指定するものとする。ただし，カラー写真は，原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は，カギ括弧を付け，著者名，文献刊行年次，引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

   [柳田 1942: 67–69]

   [Leach 1961: 123]

   [柳田 1942: 67–69, 1944: 20–22; Leach 1961: 123]

   ただし，同年次刊行物の場合は，アルファベット順により，下記のように記載するものとする。

   [柳田 1942a: 20–22] [柳田 1942b: 10]
9. 脚注は，一つ一つ別紙に記し，通し番号を付ける。なお，本文中に脚注をそう入する箇所には，脚注の当該番号を記入し，別紙の脚注には，本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は，すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。

    (1) 文献の配列は，著者名のアルファベット順とすること。

    (2) 文献の記載は，著者名，年号，論題（タイトル），誌名，巻，号，出版社名の順とすること。欧文の雑誌名及び単行本名は，イタリック体にするため，原稿には下線を引くこと。また，ローマ字人名は，スモール・キャピタルとするため，二重下線を引き，日本文の場合は，論題にカギ括弧，雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は，原則としてアラビア数字を用いること。

    (例)

    論文の場合 (1)

    石田英一郎

    1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』 13(4): 311–330。

    Bohannan, P.

    1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14(4): 357–372.

    論文の場合 (2)

    杉浦 健一

    1942 「民間信仰の話」柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店，pp. 117–143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23–63.

単行本の場合

泉　靖一

1966 『文明をもった生物』 日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』 堀一郎訳　冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告　13巻3号

〔監　　修〕
梅　棹　忠　夫
〔編集委員長〕
友　枝　啓　泰
〔編集委員〕
朝　倉　敏　夫
片　倉　素　子
小　山　修　三
ケネス・ラドル
崎　山　　理
周　　達　生
田　邊　繁　治
垂　水　　稔
中　山　和　芳
長　野　泰　彦
宮　本　　勝
吉　田　憲　司
和　田　正　平

平成元年1月27日　発行　非売品

国立民族学博物館研究報告　13巻3号

編集・発行　国立民族学博物館
〒565　吹田市千里万博公園10-1
TEL 06 (876) 2151 (代表)

印　　刷　中西印刷株式会社
〒602　京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155 (代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.13 no.3
1988

TANAKA, Masakazu — Transformation of the Goddess Kali: An Anthropological Study of a Hindu Village Festival in a Tamil Fishing Village, Sri Lanka

ADACHI, Akira — Labor Exchange System in Sinhalese Agrarian Settlements

WADA, Shohei — Some Problems of Ethnotechnology among "Montagnards Paléonigritiques" in Northern Togo

HAYASHI, Takao — A Preliminary Study in the History of Magic Squares before the Seventeenth Century

ISSN 0385-180X

National Museum of Ethnology

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151